

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	人工肛門、人工膀胱造設後に抗がん剤を行っているストーマ外来受診者			
② 研究課題名	ストーマ保有者におけるがん薬物療法中に出現した有害事象の実態と外来介入の展望			
③実施予定期間	承認日 ～ 2020 年 5 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	森岡 直子	所属	静岡がんセンター 認定看護師教育課程
⑥当院の研究代表者	氏名	森岡 直子	所属	静岡がんセンター 認定看護師教育課程
⑦使用する検体・データ	カルテ記録			
⑧目的	ストーマ外来とは人工肛門（人工膀胱）となった患者さんが定期的に受診されます。人工肛門になった後に、抗がん剤治療を行うことが多くなり、その副作用について把握できていないことがあります。5名の看護師がストーマ外来を担当しており、すべての患者さんへ人工肛門の管理がしやすいように指導ができていないかわかりません。そこで、抗がん剤による副作用がどの程度発生しているかを知り、外来でどのように対応していくかを考えます。			
⑨方法	1) 抗がん剤によって発生した副作用（湿疹、しびれ、手足の皮むけ、爪の炎症、皮膚の乾燥、下痢）をカルテに記載があるか確認する。 2) 副作用が、病気の進行によるものか、ケアの方法に問題があるのか、抗がん剤の使用によるものかを分類する。 3) 医師のカルテから、ストーマ外来での副作用と違いがないか確認する。 4) 結果から、ストーマ外来で人工肛門のある患者さんへ、どのような指導をするのかを検討する。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020 年 1 月 30 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長